

宮古市立保育所等適正配置全体計画

(平成29年度～令和7年度)

宮古市

平成29年2月（令和5年3月見直し）



目 次

第1章	計画策定にあたって	
1	計画策定の趣旨	2
2	計画の位置付け	2
3	計画の構成及び期間	3
第2章	人口の状況	
1	人口の推移	4
2	将来人口の推計	5
第3章	教育・保育施設等の現状と課題	
1	教育・保育施設等の入所児童数の状況	8
2	施設の状況	15
3	小学校区別就学前児童数の状況	16
第4章	市立保育所等の在り方	
1	市立保育所等の役割	17
2	市立保育所等の適正配置	17
3	適正配置の具体的な推進について	18
	【別紙1】 保育所等の建築状況	19
	【別紙2】 保育所別児童入所状況（小学校区別）	20
	【別紙3】 小学校区別就学前児童数推移と年齢別状況	21

第1章 計画策定にあたって

宮古市では、平成15年に制定された「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成16年度に「宮古市次世代育成支援地域行動計画前期計画（みやこ子育てプラン21）」を策定し、この中で保育所等の整備と共に、民間委託や統廃合を含めた適正配置計画も策定しました。

その後、平成22年度に改訂した後期計画において、適正配置計画の見直しを図り、平成26年度に策定した「宮古市子ども・子育て支援事業計画」に引き継いでおります。

この間、東日本大震災の発災やこれに伴う地域コミュニティの変化、保育ニーズの高まりと保育士の不足を要因とする待機児童の発生、認定こども園や地域型保育事業の創設等、保育所等を取り巻く環境が大きく変化してきている状況にあります。

1 計画策定（見直し）の趣旨

国の待機児童解消加速化プランでは、保育ニーズのピークを平成29年度末としています。本市においても待機児童の発生等保育ニーズの高まりがみられましたが、令和2年度から入所児童の減少が始まっています。

今後は、限られた財源の効率的な活用と、人員の効果的な配置と共に、民間活力の活用を含めた保育サービスの充実を図るために、あらためて公立保育所の在り方について検討する必要があります。

これらの状況を踏まえ、平成28年2月に「宮古市立保育所等適正配置計画の策定方針」を定めました。

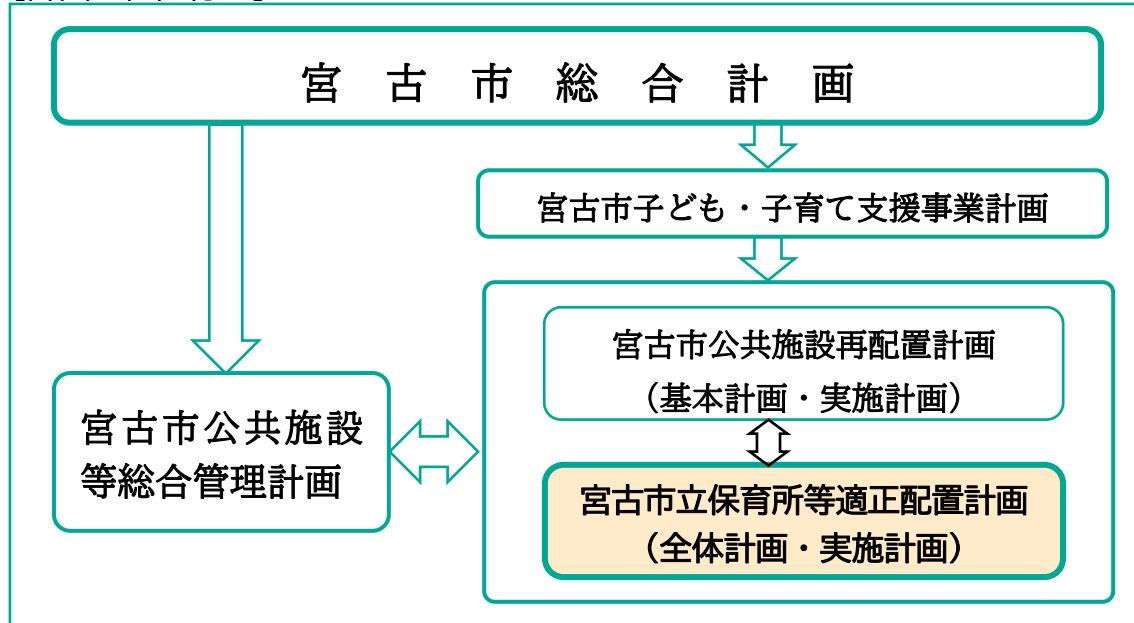
平成29年2月には、上記策定方針に基づき、宮古市子ども・子育て支援事業計画の基本理念である「子どもたちの健やかな成長のため、みんなが安心して子育て出来るまちづくり」を目指し、「宮古市立保育所等適正配置全体計画」を策定しました。

令和4年度は計画期間の中間年にあたることから、全体計画の見直しを行います。

2 計画の位置付け

計画策定に当たっては、「宮古市総合計画」、「宮古市子ども・子育て支援事業計画」及び「宮古市公共施設再配置計画」を踏まえて、今後の保育ニーズの見直しに対応した計画とします。

【計画の位置付け】



3 計画の構成及び期間

宮古市立保育所等適正配置計画（以下、「適正配置計画」という。）は、「全体計画」と「実施計画」による構成とします。

（1）適正配置**全体**計画

①適正配置全体計画の内容

適正配置全体計画では、本市の人口、年少人口、就学前児童数及び保育所等の入所状況の推移を踏まえ、今後、本市が取り組むべき保育所等の適正配置の全体像を示します。

②適正配置全体計画の期間

適正配置全体計画の期間は、宮古市公共施設再配置計画（実施計画）における第1期実施時期との整合を図り、平成29年度から令和7年度の9年間とします。

なお、計画期間内における人口動態や保育ニーズ或いは社会状況の著しい変化等に対応し、計画の実効性を確保するため、計画期間の中間年にあたる令和4年度に、適正配置全体計画の見直しを図るものとします。

（2）適正配置**実施**計画

①適正配置実施計画の内容

適正配置全体計画を段階的・計画的に推進するため、着手すべき具体的な内容を示します。

②適正配置実施計画の期間

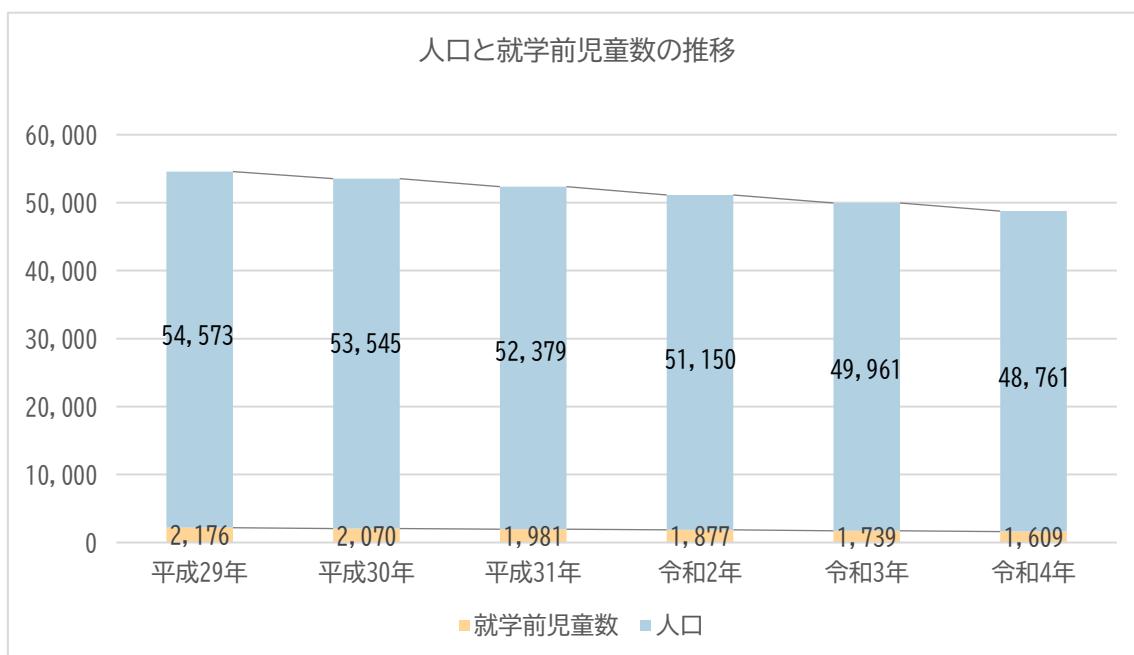
適正配置実施計画の期間は、3年間とします。

なお、適正配置実施計画の推進にあたっては、住民、保護者及び関係機関に対する説明や合意形成が必要となるなど、計画どおりに進まないことも想定されます。そのため、毎年度ローリングを行うこととし進捗状況や実態に即した計画内容となるよう修正を図ります。

第2章 人口の状況

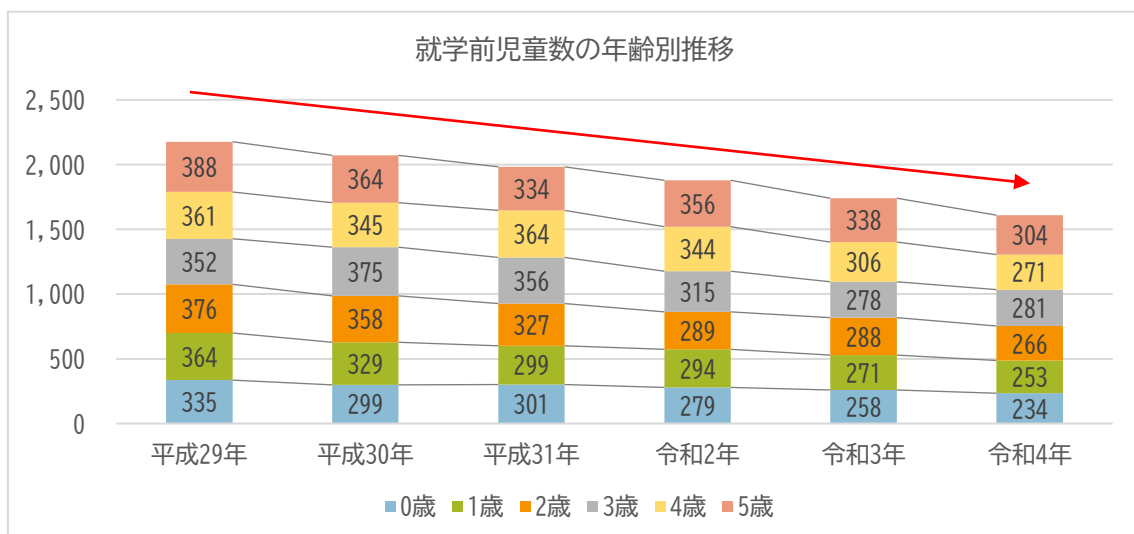
1 人口の推移

- ・本市の人口は、年々減少しており、令和4年で48,761人、平成28年に比べ6,760人、約12%の減少となっています。
- ・そのうち就学前児童数（0～5歳児）は、令和4年で1,609人、平成28年に比べ600人、約27%の減少となっており、人口全体の減少率を上回っている状況です。



資料：総合窓口課調べ（各年4月1日）

- ・就学前児童数の年齢別推移をみると、全体として減少傾向が続いています。

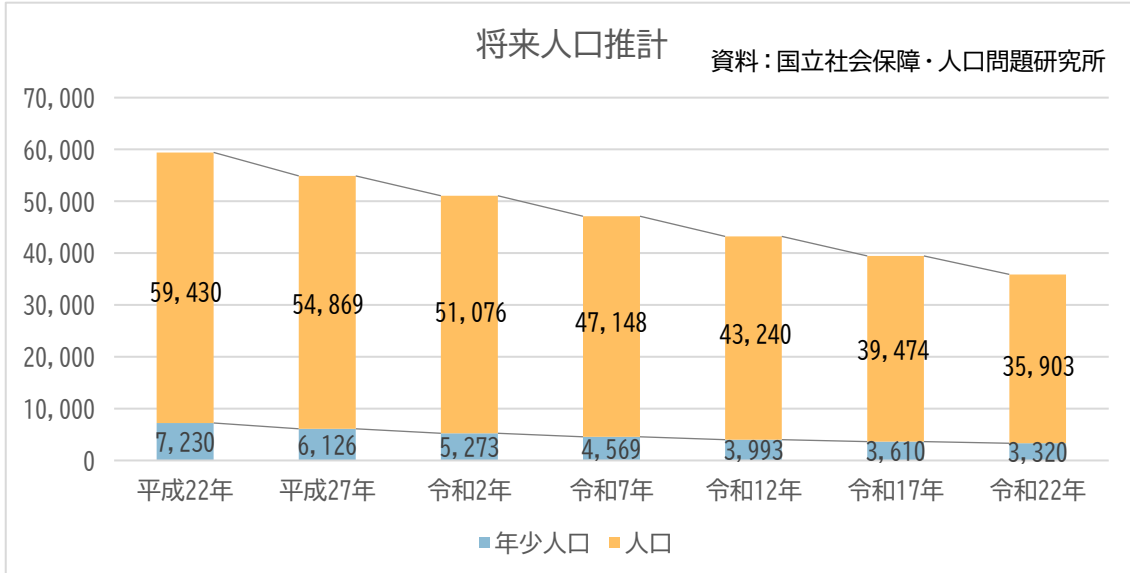


資料：総合窓口課調べ（各年4月1日）

2 将来人口の推計

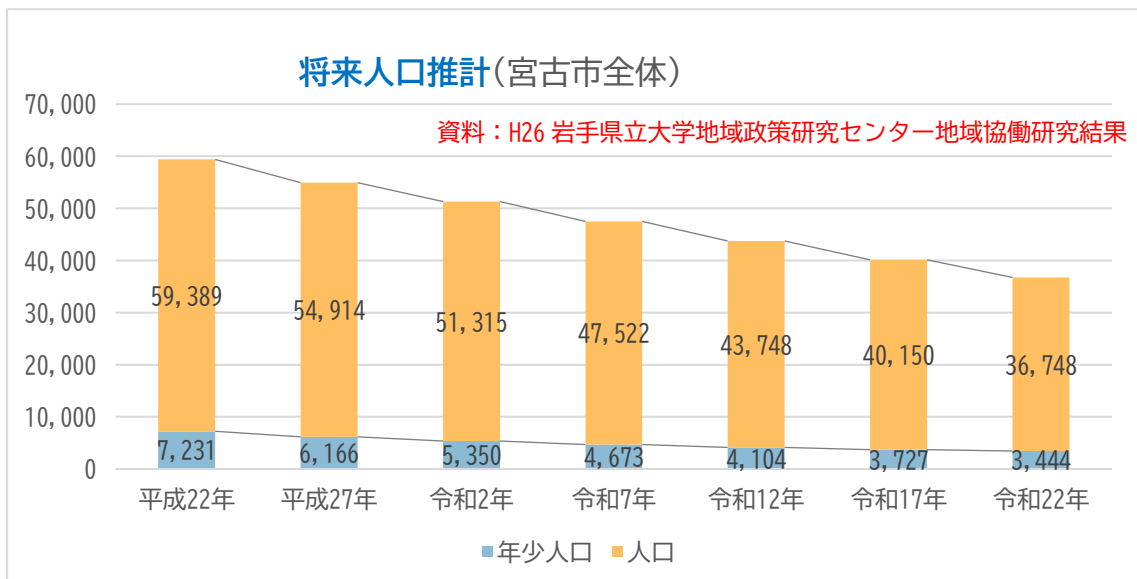
本市の将来人口について、「国立社会保障・人口問題研究所」による推計では、次のとおりとなっています。

- ・本計画期間である令和7年の人口は47,148人で、平成27年に比べ7,721人、約14%の減少となっています。
- ・そのうち年少人口（0～14歳）は、令和7年には4,569人で、平成27年に比べ、1,557人、約25%の減少となっています。



また、地区別の将来人口推計について、平成28年2月に策定された「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、岩手県立大学が実施した調査に基づき、下記のとおり推計されています。なお、推計に係る手法・引用データが異なることから、上記のグラフの値と合致しないことに留意が必要です。

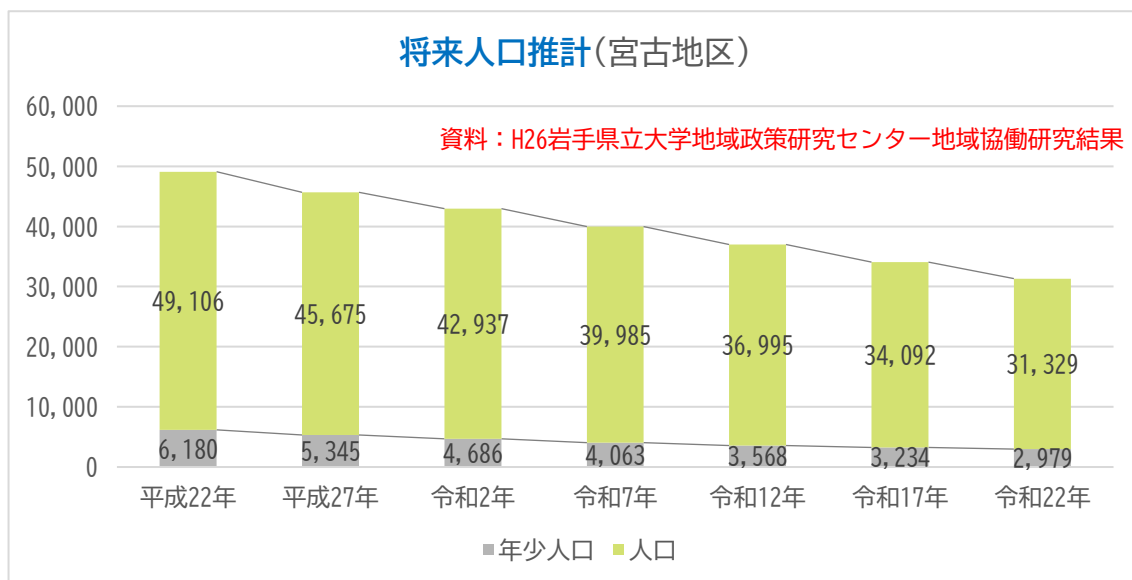
- ・本計画期間である令和7年の人口は47,522人で、平成27年に比べ7,392人、約13%の減少となっています。
- ・そのうち年少人口（0～14歳）は、令和7年には4,673人で、平成27年に比べ1,493人、約24%の減少となっています。



この調査における地域ごとの将来人口の推計は次のとおりとなります。

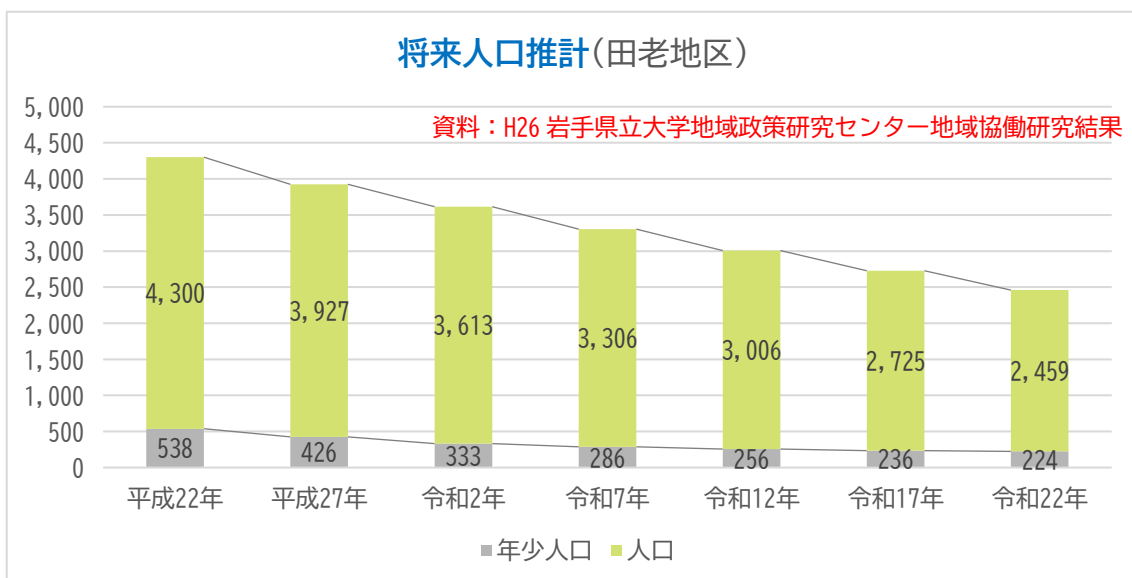
【宮古地区】

- ・将来人口は、令和7年には39,985人で、平成27年に比べ5,690人、約12%の減少となっています。
- ・そのうち年少人口(0～14歳)は、令和7年には4,063人で、平成27年に比べ1,282人、約24%の減少となっています。



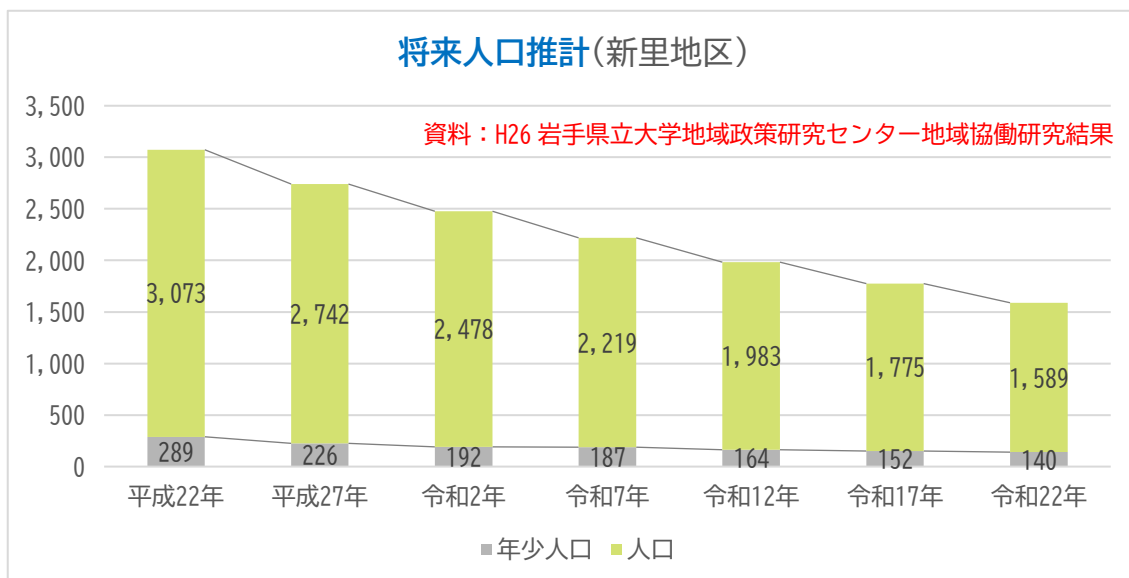
【田老地区】

- ・将来人口は、令和7年には3,306人で、平成27年に比べ621人、約16%の減少となっています。
- ・そのうち年少人口(0～14歳)は、令和7年には286人で、平成27年に比べ140人、約33%の減少となっています。



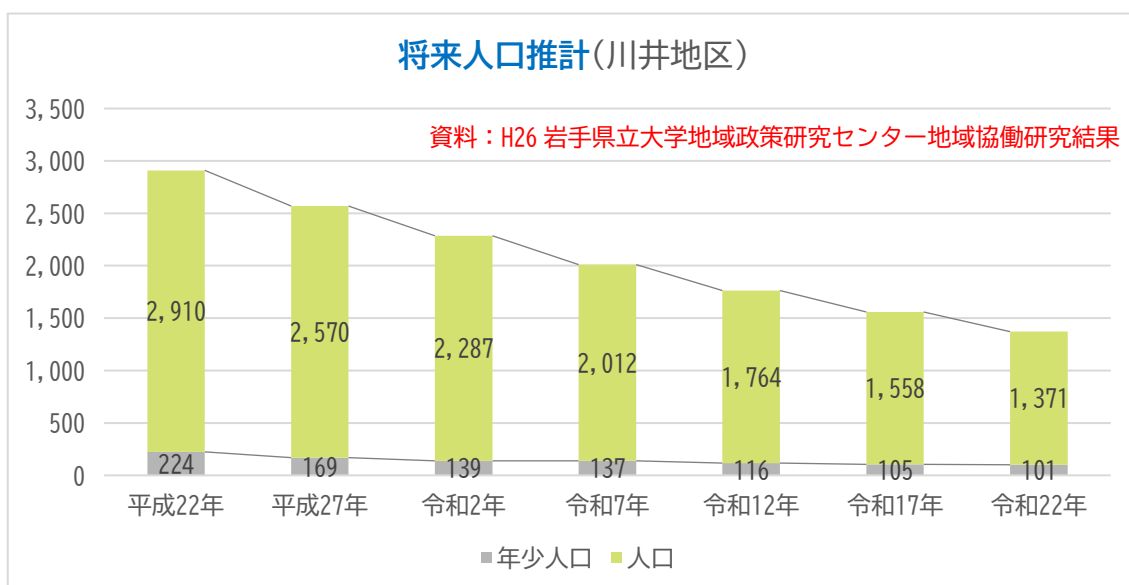
【新里地区】

- ・将来人口は、令和7年には2,219人で、平成27年に比べ523人、約19%の減少となっています。
- ・そのうち年少人口(0~14歳)は、令和7年には187人で、平成27年に比べ39人、約17%の減少となっています。



【川井地区】

- ・将来人口は、令和7年には2,012人で、平成27年に比べ558人、約22%の減少となっています。
- ・そのうち年少人口(0~14歳)は、令和7年には137人で、平成27年に比べ32人、約19%の減少となっています。

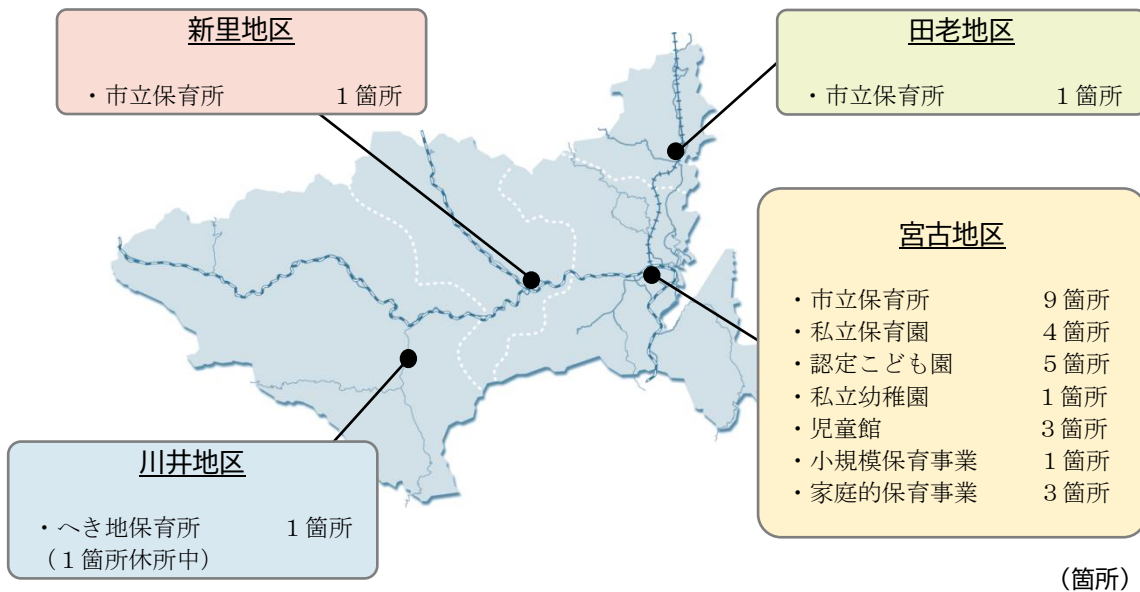


第3章 教育・保育施設等の現状と課題

1 教育・保育施設等の入所児童数の状況

本市には、現在、市立保育所 12 箇所（内 1 箇所はへき地保育所）、私立保育園 4 箇所（内 1 箇所は分園）、私立認定こども園 5 箇所（内 1 箇所は分園）、私立幼稚園 1 箇所、児童館 3 箇所、小規模保育事業所 1 箇所及び家庭的保育事業所 3 箇所があり、児童の教育・保育等を実施しています。

地域ごとの施設の設置状況は、下記のとおりです。



	保育所(園)	認定こども園	幼稚園	小規模保育事業所	家庭的保育事業所	へき地保育所	児童館	計
宮古地区	13	5	1	1	3	0	3	26
田老地区	1	0	0	0	0	0	0	1
新里地区	1	0	0	0	0	0	0	1
川井地区	0	0	0	0	0	1	0	1

また、就学前児童数と保育施設への入所児童数の状況は、下表のとおりです。

年度	就学前児童数	保育所(園)	認定こども園	幼稚園	小規模保育事業所	家庭的保育事業所	へき地保育所	児童館	認可外保育所	合計	入所率(%)
H30	2,070	770	468	97		3	18	63	59	1,478	71.4
H31	1,981	740	514	100		6	15	53	70	1,498	75.6
R2	1,877	741	500	76		10	12	58	64	1,461	77.8
R3	1,736	693	488	66		10	12	57	51	1,377	79.3
R4	1,609	662	449	60	5	7	7	50	35	1,275	79.2

資料：こども課調べ（各年4月1日）

(1) 保育施設の状況

保育施設の入所状況については、昭和 50 年代後半に 100%近い充足率がありましたが、平成 10 年度に約 80%の充足率まで下がりました。その後、再び増加に転じ、平成 14 年度には 100%を超える状況もありました。

しかし、平成 20 年度以降は充足率が減少傾向にあり、令和 4 年度においては、保育施設全体で約 80%の充足率となっています。

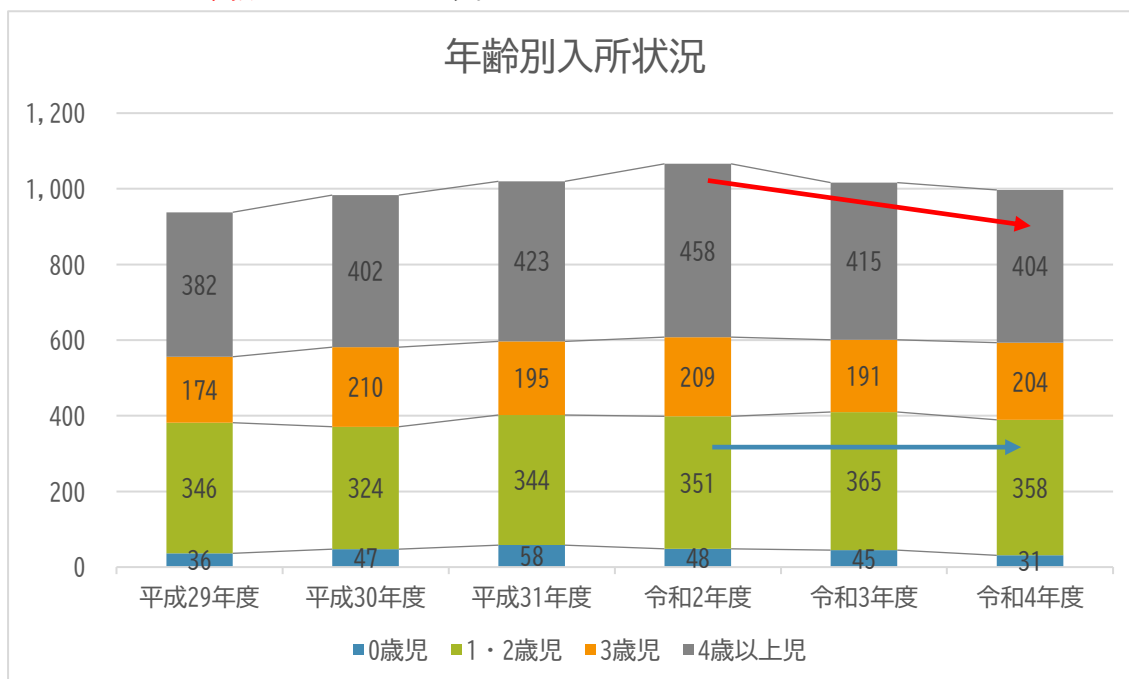
私立保育園は充足率 100%前後で推移しているものの、市立保育所も含め入所児童数及び充足率とも近年は減少傾向にあります。

また、本計画の策定当初にはなかった地域型保育事業の事業所が平成 30 年度以降に開設され始め、0～2 歳児までの保育を担っています。

施設種別・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
市立保育所	施設数	11	11	11	11	11	11
	定員	690	690	690	705	705	705
	児童数	562	519	537	537	494	474
	充足率	81.4%	75.2%	77.8%	76.2%	70.1%	67.2%
私立保育園	施設数	4	5	4	4	4	4
	定員	226	255	195	201	201	201
	児童数	230	251	203	204	199	188
	充足率	101.8%	98.4%	104.1%	101.5%	99.0%	93.5%
私立認定こども園 (保育対応部分)	施設数	2	3	5	5	5	5
	定員	159	229	289	329	329	339
	児童数	146	210	274	315	313	323
	充足率	91.8%	91.7%	94.8%	95.7%	95.1%	95.3%
地域型保育事業所 (小規模保育事業・ 家庭的保育事業)	施設数		1	2	2	2	4
	定員		5	10	10	10	25
	児童数		3	6	10	10	12
	充足率		60.0%	60.0%	100.0%	100.0%	48.0%
合 計	施設数	17	20	22	22	22	24
	定員	1,075	1,179	1,184	1,245	1,245	1,270
	児童数	938	983	1,020	1,066	1,016	997
	充足率	87.3%	83.2%	86.1%	85.6%	81.6%	78.5%

資料：こども課調べ（各年 4 月 1 日）

全体の入所児童数は令和2年度をピークに近年は減少傾向ですが、3歳未満児においてはほぼ同数となっています。



資料：こども課調べ（各年4月1日）

一方で、保育所への入所を希望しても入所できない、いわゆる「待機児童」の状況は下表のとおりです。

区分 年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
H30	0	2	0	0	0	0	2
H31	0	0	0	0	0	0	0
R2	0	0	0	0	0	0	0
R3	0	0	0	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	0	0	0

資料：こども課調べ（各年4月1日）

平成31年度以降、4月1日現在における待機児童は0に改善しています。

また、市立保育所11カ所のうち津軽石保育所が平成28年度から、花輪保育所が令和2年度から指定管理に移行し、民間団体による管理となっています。

保育施設の個別の状況

① 市立保育所

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
愛宕保育所	定員	45	45	45	45	45	45
	児童数	25	22	22	22	18	19
	充足率	55.6%	48.9%	48.9%	48.9%	40.0%	42.2%
千徳保育所	定員	60	60	60	60	60	60
	児童数	69	58	62	60	51	45
	充足率	115.0%	96.7%	103.3%	100.0%	85.0%	75.0%
津軽石保育所 (H28～指定管理)	定員	60	60	60	60	60	60
	児童数	47	48	50	52	51	43
	充足率	78.3%	80.0%	83.3%	86.7%	85.0%	71.7%
小山田保育所	定員	120	120	120	120	120	120
	児童数	95	97	95	103	96	97
	充足率	79.2%	80.8%	79.2%	85.8%	80.0%	80.8%
花輪保育所 (R2～指定管理)	定員	45	45	45	60	60	60
	児童数	39	34	36	39	35	40
	充足率	86.7%	75.6%	80.0%	65.0%	58.3%	66.7%
山口保育所	定員	45	45	45	45	45	45
	児童数	40	33	39	37	29	29
	充足率	88.9%	73.3%	86.7%	82.2%	64.4%	64.4%
佐原保育所	定員	70	70	70	70	70	70
	児童数	42	42	33	33	31	32
	充足率	60.0%	60.0%	47.1%	47.1%	44.3%	45.7%
磯鷄保育所	定員	45	45	45	45	45	45
	児童数	36	27	34	28	33	31
	充足率	80.0	60.0	75.6	62.2	73.3	68.9
崎山保育所	定員	60	60	60	60	60	60
	児童数	58	55	53	58	48	45
	充足率	96.7%	91.7%	88.3%	96.7%	80.0%	75.0%
田老保育所	定員	70	70	70	70	70	70
	児童数	67	58	66	56	54	50
	充足率	95.7%	82.9%	94.3%	80.0%	77.1%	71.4%
新里保育所	定員	70	70	70	70	70	70
	児童数	44	45	47	49	48	43
	充足率	62.9%	64.3%	67.1%	70.0%	68.6%	61.4%
合 計	施設数	11	11	11	11	11	11
	定員	690	690	690	705	705	705
	児童数	562	519	537	537	494	474
	充足率	81.4%	75.2%	77.8%	76.2%	70.1%	67.2%

資料：こども課調べ（各年4月1日）

② 私立保育園

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
常安寺保育園	定員	60	60	60	60	60	60
	児童数	54	59	60	59	57	53
	充足率	90.0%	98.3%	100.0%	98.3%	95.0%	88.3%
宮古保育園	定員	56	56	56	56	56	56
	児童数	56	59	59	58	55	50
	充足率	100.0%	105.4%	105.4%	103.6%	98.2%	89.3%
赤前保育園 (～H30)	定員	60	60				
	児童数	65	60				
	充足率	108.3%	100.0%				
いずみ保育園	定員	50	50	50	50	50	50
	児童数	55	53	56	57	57	56
	充足率	110.0%	106.0%	112.0%	114.0%	114.0%	112.0%
いずみ保育園分園 (H30～)	定員		29	29	35	35	35
	児童数		20	28	30	30	29
	充足率		69.0%	96.6%	85.7%	85.7%	82.9%
合 計	施設数	4	5	4	4	4	4
	定員	226	255	195	201	201	201
	児童数	230	251	203	204	199	188
	充足率	101.8%	98.4%	104.1%	101.5%	99.0%	93.5%

資料：こども課調べ（各年4月1日）

③ 私立認定こども園（保育対応部分）

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
認定こども園 宮古泉幼稚園	定員	90	90	90	130	130	150
	児童数	88	94	104	135	137	140
	充足率	97.8%	104.4%	115.6%	103.8%	105.4%	93.3%
認定こども園 そけい幼稚園	定員	69	70	70	70	70	60
	児童数	58	51	44	59	50	52
	充足率	84.1%	72.9%	62.9%	84.3%	71.4%	86.7%
認定こども園 宮古ひかり (H30～)	定員		69	69	69	69	69
	児童数		65	71	79	78	80
	充足率		94.2%	102.9%	114.5%	113.0%	115.9%
認定こども園 あかまえこども園 (H31～)	定員			50	50	50	50
	児童数			42	32	32	42
	充足率			84.0%	64.0%	64.0%	84.0%
認定こども園 あかまえこども園 分園 (H31～)	定員			10	10	10	10
	児童数			13	10	16	9
	充足率			130.0%	100.0%	160.0%	90.0%
合 計	施設数	2	3	5	5	5	5
	定員	159	229	289	329	329	339
	児童数	146	210	274	315	313	323
	充足率	91.8%	91.7%	94.8%	95.7%	95.1%	95.3%

資料：こども課調べ（各年4月1日）

④地域型保育事業所

子ども子育て支援新制度により、市町村の認可事業として地域型保育事業が創設されました。事業規模等により4つの類型に分けられ、次のふたつの事業が展開されています。

④-1 小規模保育事業所（C型：認可定員6～19人）

令和3年度まで家庭的保育事業者を行っていた事業者が、令和4年度から小規模保育事業所C型へ移行し、現在1か所で運営されています。

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
ククナの家 (R4～)	定員						10
	児童数						5
	充足率						50.0%

資料：こども課調べ（各年4月1日）

- ・ククナの家は、家庭的保育事業所として平成31年4月1日開所、令和4年度から小規模保育事業所へ移行。

④-2 家庭的保育事業所（認可定員1～5人）

個人でも運営することができる家庭的保育事業所は、平成30年に市内に初めて開設され、令和4年度現在3か所で運営されています。

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
つくしんぼ (H30～)	定員		5	5	5	5	5
	児童数		3	5	5	5	5
	充足率		60.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ククナの家 (H31～R3)	定員			5	5	5	
	児童数			1	5	5	
	充足率			20.0%	100.0%	100.0%	
ぶどうのき (R4～)	定員						5
	児童数						2
	充足率						40.0%
ぼかぼかてらす (R4～)	定員						5
	児童数						0
	充足率						0.0%
合 計	施設数	0	1	2	2	2	3
	定員		5	10	10	10	15
	児童数		3	6	10	10	7
	充足率		60.0%	60.0%	100.0%	100.0%	46.7%

資料：こども課調べ（各年4月1日）

- ・つくしんぼは、平成30年4月1日開所
- ・ククナの家は、家庭的保育事業所として平成31年4月1日開所、令和4年度から小規模保育事業所へ移行。
- ・ぶどうのき、ぼかぼかてらすは、令和4年4月1日開所。

(2) 幼児教育施設の状況

幼児教育施設の入園状況については、昭和 50 年代後半から入園児数が減少傾向となり、東日本大震災発災後の平成 24 年度に一時増加しましたが、その後は再び減少傾向に転じ、令和 4 年度の充足率は、**約 71%**となっています。

平成 31 年度及び令和 2 年度に充足率が増加していますが、これは、定員見直し(定員の減少)によるものであり、入所児童数の**減少傾向**に変わりはありません。

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
小百合幼稚園	定員	200	200	90	90	90	75
	児童数	106	106	104	76	66	61
	充足率	53.0%	53.0%	115.6%	84.4%	73.3%	81.3%
認定こども園 そけい幼稚園 (幼児教育部分)	定員	180	80	80	80	80	60
	児童数	130	81	68	61	55	41
	充足率	72.2%	101.2%	85.0%	76.3%	68.8%	68.3%
認定こども園 宮古泉幼稚園 (幼児教育部分)	定員	120	120	120	80	80	60
	児童数	130	110	88	71	71	43
	充足率	108.3%	91.7%	73.3%	88.8%	88.8%	71.7%
認定こども園 宮古ひかり (幼児教育部分)	定員	90	90	90	61	61	61
	児童数	70	67	55	50	46	40
	充足率	77.8%	74.4%	61.1%	82.0%	75.4%	65.6%
認定こども園 あかまこども園 (幼児教育部分)	定員			3	3	9	9
	児童数			3	3	3	2
	充足率			100.0%	100.0%	33.3%	22.2%
合 計	施設数	4	4	5	5	5	5
	定員	590	490	383	314	320	265
	児童数	436	364	318	261	241	187
	充足率	73.9%	74.3%	83.0%	83.1%	75.3%	70.6%

資料：こども課調べ（各年4月1日または5月1日）

(3) ヘキ地保育所の状況

川井地区に2か所のヘキ地保育所がありますが、門馬保育所については平成 31 年度から休所となっています。入所児童数は減少傾向にあり、平成 29 年度は2か所合計で 15 人の入所児童数でしたが、令和 4 年度は1か所7人となっています。

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
小国保育所	定員	30	30	30	30	30	30
	児童数	12	16	15	12	12	7
	充足率	40.0%	53.3%	50.0%	40.0%	40.0%	23.3%
門馬保育所	定員	30	30	H31～(休所)			
	児童数	2	2				
	充足率	6.7%	6.7%				
合 計	施設数	2	2	1	1	1	1
	定員	60	60	30	30	30	30
	児童数	14	18	15	12	12	7
	充足率	23.3%	30.0%	50.0%	40.0%	40.0%	23.3%

・門馬保育所は平成 31 年度から休所中。

資料：こども課調べ（各年4月1日）

(4) 児童館の状況

市内に5か所の児童館がありましたが、入館児童数は減少傾向にあり、田老児童館が平成28年度末に、川内児童館が令和元年度末に廃止となりました。現在、3か所全ての児童館において小学生児童を対象とした学童保育も実施しており、**定員は学童利用も含んだ人数**となっています。

また、児童館の運営は、全て指定管理に移行しており、民間団体による管理運営が実施されています。

施設名・項目		年度					
		H29	H30	H31	R2	R3	R4
重茂児童館	定員	80	80	80	80	80	80
	児童数	31	35	29	32	34	27
	充足率	38.8%	43.8%	36.3%	40.0%	42.5%	33.8%
高浜児童館	定員	50	50	50	50	50	50
	児童数	5	2	1	0	0	0
	充足率	10.0%	4.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
田代児童館	定員	30	30	30	30	30	30
	児童数	6	2	0	0	0	0
	充足率	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
田老児童館	定員	H29～(廃止)					
	児童数						
	充足率						
川内児童館	定員	H26～(休館)			(廃止)		
	児童数						
	充足率						
合計	施設数	3	3	3	3	3	3
	定員	160	160	160	160	160	160
	児童数	42	39	30	32	34	27
	充足率	26.3%	24.4%	18.8%	20.0%	21.3%	16.9%

資料：こども課調べ（各年4月1日）

2 施設の状況

市立保育所11か所の施設の状況については、昭和40年代に建築された施設が2か所、昭和50年代が3か所、平成以後の建築が6か所となっており、施設の老朽化が著しい状況です。（別紙1（19頁））

みやこ子育てプラン2-1において計画された施設整備については、これまで平成20年度に重茂児童館を、平成21年度に小山田保育所を建築しています。

その後、平成23年の東日本大震災で発生した津波により津軽石保育所及び田老保育所が全壊しました。この2施設については、災害復旧事業として優先的に取り組み、平成27年度に建設に着手し、年度内に完成しております。

以後、必要な箇所についての修繕を実施しながら、土砂災害警戒区域内に立地していた花輪保育所を令和2年度に移転新築しています。

また、市立保育所運営費におけるこれまでの修繕費の支出状況は、次の表のとおりとなります。

【市立保育所の修繕費支出状況】

(単位：千円)

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額	5,945	6,277	4,442	2,934	3,047	3,056

3 小学校区別就学前児童数の状況

(1) 保育所における入所児童数の状況

保育所等の在り方を検討するにあたり参考となる各保育所の小学校区別の入所児童数の状況は、別紙2(20頁)のとおりです。

保育所ごとの入所児童数の内訳をみると、公立保育所においては、愛宕保育所及び小山田保育所を除き、入所児童数の約6割以上が当該保育所の位置する小学校区の児童となっています。

このことから、公立保育所等の適正配置を検討するにあたり、小学校区ごとの就学前児童数の推移をひとつの目安にできると考えられます。

一方で、私立保育所においては、保育所が位置する小学校区以外の児童数の方が若干多い傾向となっています。

(2) 小学校区ごとの保育施設及び就学前児童数の状況

各小学校区内の保育施設とその学区内に居住する就学前児童数をまとめたものが別紙3(21頁)です。

就学前児童数は減少傾向が続いており、令和4年においては、高浜小学校区と川井小学校区で、各年齢の児童数が一桁となっています。

また、本資料6～7ページに掲載した平成26年に推計された将来人口に基づき、平成27年、令和2年及び令和7年の地区ごとの0歳から14歳までの年少人口について予測値をまとめたものが下の表です。

平成27年予測値に対する各年の増減率について算定してあり、平成27年と令和2年については実績値も記載してあります。

これによると、平成26年に推計された**予測を上回るペースで人口減少が進んでおり、田老地区及び川井地区においては、その傾向がより顕著**になっています。

地区	区分	平成27年		令和2年		令和7年 予測値
		予測値	実績値	予測値	実績値	
宮古地区	年少人口(人)	5,345	5,491	4,686	4,607	4,063
	H27予測に対する増減(%)	—	+2.7	△12.3	△13.8	△24.0
田老地区	年少人口(人)	426	339	333	243	286
	H27予測に対する増減(%)	—	△20.4	△21.8	△43.0	△32.9
新里地区	年少人口(人)	226	217	192	174	187
	H27予測に対する増減(%)	—	△4.0	△15.0	△23.0	△17.3
川井地区	年少人口(人)	169	133	139	77	137
	H27予測に対する増減(%)	—	△21.3	△17.8	△54.4	△18.9

第4章 市立保育所等の在り方

1 市立保育所等の役割

保育所保育指針（平成 29 年厚生労働省告示第 117 号）において、保育所の役割とは「入所する子どもを保育するとともに、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担う」とされています。

特に市立保育所は、地域子育て支援事業の充実や特別な支援や配慮が必要な子どもへの対応等の民間保育施設では対応が難しいと考えられる部分を担う役割及び、民間保育施設の参入が見込まれない地域への保育の提供を担う役割が求められています。

現在、本市においては、小山田保育所に地域子育て支援センターを設置し、交流や相談の場を設けるとともに、田老公民館等、地域に出向いての「出前事業」も行い、市全域において子育て家庭に対する支援の場を設けています。

また、保育所に看護師等を配置することにより、病後児保育事業を実施しているほか、障がいや医療的ケアなど特別な支援を要する児童の受け入れにも取り組んでいます。

この他、市立保育所においては、地域の子育て家庭に対し定期的に園庭を開放するなど、積極的に地域との交流を図っています。

今後も、地域の子育て家庭への支援や病後児保育等の特別な保育に対する取り組みについては、基幹的な役割を持つ保育所（以下「**基幹的保育所**」という。）を中心に一層の充実を図っていくことが必要であり、また、年度後半において発生しやすい待機児童対策など多様化・増加する保育ニーズに対し、民間活力も活用した総合的な対応が求められます。

へき地保育所については、川井地区における子育て拠点施設として、多様なニーズに応えられるよう、児童数等の推移を踏まえながら地域型保育事業の導入など、効果的、効率的な在り方を検討し対応していく必要があります。

2 市立保育所等の適正配置

部分的に見ると年度途中からの入所における 0 歳から 2 歳児の保育ニーズの高まりが継続することが予想されますが、全体的に見ると人口や就学前児童数の減少に伴う入所児童数の減少が既に始まっています。

適正配置の在り方を考えるにあたり、これまでは保育所の利用について概ね各保育所の属する小学校区の児童が利用する傾向にあることから、小学校区に属する就学前児童数の推移及び市全体の就学前児童数に対する保育所等の利用児童数の割合等を考慮しておりました。

しかし、近年は自家用車で送迎する家庭が増加しており、小学校区に拘らず通勤経路や送迎のしやすさ等、利便性の高い保育所等に入所希望が偏る傾向があります。

このことから、小学校区の就学前児童数だけでなく、入所児の年齢の傾向や**利便性も考慮した定員の設定**等を考える必要があります。

また、建替え等に際しては、立地や設備、保育サービス等も考慮し、利用しやすく魅力ある保育所にすることによって、偏りがちな**入所希望を平準化していく**必要もあります。

更に、市立保育所の建替えには民間施設と比較して多大な財源が必要になることから、**基幹的保育所の運営の継続**と併せて、基幹的保育所以外については**民間活力の導入を含めた様々な施設の管理運営の在り方**を検討することとします。

その上で、宮古市公共施設再配置計画との整合性を図りながら、全体計画期間における市立保育所等の在り方を判断するにあたっての指針を次のとおりとします。

【指針1】立地場所の安全性と施設の老朽化の度合いを踏まえた計画的な改修の検討

【指針2】施設が所在する小学校区の就学前児童数及び私立施設を含めた施設配置の状況と、立地環境等地域の特性や実情に応じた在り方の検討

【指針3】入所又は待機児童数の状況に応じた定員数の見直しの検討

【指針4】基幹的保育所（小山田保育所、千徳保育所、田老保育所、新里保育所）の在り方の検討

3 適正配置の具体的な推進について

適正配置の具体的な推進については、前記2の指針を基本に関係機関との協議しながら、実施計画において定めることとします。

別紙1

■保育所等の建築状況（建築年月日順）

【公立保育所】

令和5年3月現在

	施設名	建築年月日	開設年月日	構造	延床面積 (㎡)	建築経過年数	備考
1	愛宕保育所	昭和42年11月30日	昭和43年4月1日	木造モルタル造平屋建	301.42	55年3月	R5～7実施計画
2	山口保育所	昭和49年3月25日	昭和49年4月1日	木造モルタル造平屋建	459.59	48年11月	R5～7実施計画
3	佐原保育所	昭和51年10月30日	昭和52年4月1日	木造モルタル造平屋建	423.99	46年4月	R5～7実施計画
4	磯鷄保育所	昭和53年2月28日	昭和53年4月1日	木造モルタル造平屋建	382.58	45年0月	
5	崎山保育所	昭和57年12月20日	昭和58年4月1日	木造モルタル造平屋建	386.72	40年2月	
6	千徳保育所	平成8年3月20日	昭和44年4月1日	木造平屋建	427.00	26年11月	
7	新里保育所	平成13年3月12日	昭和40年4月1日	鉄骨造平屋建	693.79	21年11月	
8	小山田保育所	平成21年3月7日	昭和46年4月1日	鉄骨造2階建	916.83	13年11月	
9	田老保育所	平成28年1月21日	昭和28年6月1日	木造平屋建	584.01	7年1月	災害復旧
10	津軽石保育所	平成28年2月19日	昭和45年4月1日	木造平屋建	481.12	7年0月	災害復旧
11	花輪保育所	令和2年2月14日	昭和48年4月1日	木造平屋建	546.75	3年0月	

【八き地保育所】

	施設名	建築年月日	開設年月日	構造	延床面積 (㎡)	建築経過年数	備考
1	門馬保育所	平成10年3月10日	平成10年4月1日	鉄骨造平屋建	117.52	24年11月	出張所・デイサービスセンタと合築
2	小国保育所	平成12年1月25日	平成12年4月1日	鉄骨造平屋建	203.79	23年1月	出張所・デイサービスセンタと合築

【児童館】

	施設名	建築年月日	開設年月日	構造	延床面積 (㎡)	建築経過年数	備考
1	田代児童館	平成18年7月1日	昭和47年4月1日	木造2階建	1,725.80	16年8月	H28年度被災。平成29年度より亀岳小学校内へ移転
2	高浜児童館	昭和51年3月20日	昭和52年4月1日	木造モルタル造平屋建	309.70	46年11月	
3	重茂児童館	平成20年2月18日	昭和42年1月19日	木造2階建	498.71	15年0月	
	川内児童館	昭和43年12月1日	昭和44年4月1日	木造平屋建	214.83	—	R3年度解体工事完了

【私立保育園】

	施設名	建築年月日	開設年月日	構造	延床面積 (㎡)	建築経過年数	備考
1	常安寺保育園	昭和26年1月1日	昭和25年7月1日	木造平屋建	498.56	72年2月	
2	宮古保育園	昭和30年9月30日	昭和32年12月1日	木造平屋建	239.50	67年5月	
3	いずみ保育園	平成16年3月31日	平成16年4月1日	木造平屋建	360.01	18年11月	
4	いずみ保育園分園	平成30年2月28日	平成30年4月1日	軽量鉄骨造2階建	362.07	5年0月	

【私立認定こども園】

	施設名	建築年月日	開設年月日	構造	延床面積 (㎡)	建築経過年数	備考
1	そけい幼稚園	昭和61年12月 平成12年4月	平成30年4月1日	鉄筋コンクリート造2階建 鉄骨造2階建	940.56	36年3月	幼稚園から移行
2	宮古泉幼稚園	平成12年4月	平成27年4月1日	鉄骨造2階建	1,394.00	22年11月	幼稚園から移行
3	宮古ひかり	平成27年8月15日	平成27年11月2日	鉄骨耐火造	1,335.49	7年6月	幼稚園から移行
4	あかまえこども園	平成23年2月28日	平成31年4月1日	鉄筋コンクリート造2階建	587.63	12年0月	保育園から移行
4	あかまえこども園分園	昭和42年8月15日	平成31年4月1日	木造2階建	142.49	55年6月	保育園から移行

【私立幼稚園】

	施設名	建築年月日	開設年月日	構造	延床面積 (㎡)	建築経過年数	備考
1	小百合幼稚園	平成1年12月8日	昭和28年9月6日	鉄骨造2階建	1,022.00	33年2月	

別紙2

■保育所別児童入所状況（小学校区別）

【公立保育所】

	施設名	小学校区	入所児童数	小学校区内		小学校区外	
				人数	割合	人数	割合
1	愛宕保育所	宮古小学校・鍬ヶ崎小学校	19	7	36.8%	12	63.2%
2	千徳保育所	千徳小学校	45	33	73.3%	12	26.7%
3	津軽石保育所	津軽石小学校	43	35	81.4%	8	18.6%
4	小山田保育所	磯鷄小学校	97	42	43.3%	55	56.7%
5	花輪保育所	花輪小学校	40	30	75.0%	10	25.0%
6	山口保育所	山口小学校	29	20	69.0%	9	31.0%
7	佐原保育所	鍬ヶ崎小学校	32	21	65.6%	11	34.4%
8	磯鷄保育所	磯鷄小学校	31	27	87.1%	4	12.9%
9	崎山保育所	崎山小学校	45	42	93.3%	3	6.7%
10	田老保育所	田老第一小学校	50	44	88.0%	6	12.0%
11	新里保育所	新里小学校	43	29	67.4%	14	32.6%
	合計		474	330	69.6%	144	30.4%

令和4年4月1日現在

【私立保育所】

	施設名	小学校区	入所児童数	小学校区内		小学校区外	
				人数	割合	人数	割合
1	常安寺保育園	宮古小学校	53	11	20.8%	42	79.2%
2	宮古保育園	宮古小学校	50	17	34.0%	33	66.0%
3	いずみ保育園	千徳小学校	56	29	51.8%	27	48.2%
4	いずみ保育園分園	千徳小学校	29	17	58.6%	12	41.4%
	合計		188	74	39.4%	114	60.6%

令和4年4月1日現在

別紙3

■小学校区別就学前児童数（1～6歳）の推移と最新（令和4年）の年齢別状況

（単位：人）

小学校区	学区内の 保育施設	保育施 設の定 員数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年						
											6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
宮古小学校	愛宕保育所	45	232	243	245	214	189	169	152	137	25	26	25	21	21	19
	常安寺保育園	60														
	宮古保育園	56														
	小百合幼稚園	75														
鉄ヶ崎小学校	愛宕保育所	45	152	138	141	133	126	119	110	97	19	14	20	16	17	11
	佐原保育所	70														
磯鷄小学校	小山田保育所	120	342	349	310	300	296	281	271	251	41	43	48	37	45	37
	磯鷄保育所	45														
	そけい幼稚園	120														
山口小学校	山口保育所	45	231	233	244	228	237	224	198	185	38	31	29	32	28	27
	宮古ひかり	130														
	あかまえこども園分園	10														
	(田代児童館)	30														
千徳小学校	千徳保育所	60	500	488	484	472	446	438	410	391	70	65	65	70	61	60
	いずみ保育園	50														
	いずみ保育園分園	35														
	宮古泉幼稚園	210														
高浜小学校	(高浜児童館)	50	53	61	58	55	45	39	38	35	6	7	7	4	6	5
花輪小学校	花輪保育所	60	138	136	134	133	134	124	130	114	19	22	19	16	16	22
津軽石小学校	津軽石保育所	60	156	158	150	137	127	109	96	93	19	15	18	12	18	11
	あかまえこども園	59														
重茂小学校	(重茂児童館)	80	54	58	60	59	54	56	51	46	11	8	6	9	6	6
崎山小学校	崎山保育所	60	136	141	145	136	146	146	135	128	22	20	26	24	18	18
小計	宮古地区	1,575	1,994	2,005	1,971	1,867	1,800	1,705	1,591	1,477	270	251	263	241	236	216
田老第一小学校	田老保育所	70	98	93	97	85	85	73	69	63	12	12	10	9	11	9
小計	田老地区	70	98	93	97	85	85	73	69	63	12	12	10	9	11	9
新里小学校	新里保育所	70	81	79	81	81	67	73	53	44	16	4	6	10	2	6
小計	新里地区	70	81	79	81	81	67	73	53	44	16	4	6	10	2	6
川井小学校	小国保育所	30	39	39	43	40	35	24	24	19	3	5	3	1	4	3
	門馬保育所	30														
小計	川井地区	60	39	39	43	40	35	24	24	19	3	5	3	1	4	3
合計		1,775	2,212	2,216	2,192	2,073	1,987	1,875	1,737	1,603	301	272	282	261	253	234
前年比				4	▲24	▲119	▲86	▲112	▲138	▲134						

資料：宮古の教育（各年5月1日現在）

- ・磯鷄小学校については、平成元年までは、磯鷄小学校と藤原小学校の合計数
- ・山口小学校については、令和2年までは、山口小学校と亀岳小学校の合計数
- ・津軽石小学校については、令和3年までは、津軽石小学校と赤前小学校の合計数
- ・田老第一小学校については、平成30年までは、田老第一小学校と田老第三小学校の合計数
- ・川井小学校については、平成29年までは、川井小学校と門馬小学校の合計数